

事業番号	04 07 04	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	認知症対策総合推進事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・室	保健・疾病対策課	
総合5か年計画	プロジェクト	4-1-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 1 保健活動の推進 4 医療施策の充実 6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 4 社会的援護の促進			実施期間	H19 ~		

1 事業の概要

目指す姿	医療・介護・福祉の連携による総合的な支援を行い、認知症高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指す。		
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者（累計）515人 研修年1回開催 ・認知症相談医ステップアップ研修修了者（累計）52人（平成24年度） 研修年1回開催 ・認知症コールセンター相談件数 243件/年（平成24年度） ・県内内3箇所に認知症疾患医療センターを設置（飯田病院、安曇総合病院、佐久総合病院） 		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）	【左記の説明、根拠法令等】 県内の認知症施策の全体的な水準の向上を図ることを目的とするため、国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である。平成25年7月4日付老発0704第1号「認知症対策等総合支援事業の実施について」等。認知症疾患医療センターの指定は都道府県知事が行う。	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標（H26）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者累計 550人 ・認知症サポート医養成累計 65人 ・認知症疾患医療センターの設置箇所 3箇所 				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	認知症地域支援施策推進事業	直接	699	442	787
	認知症地域医療支援事業	直接委託	1,184	877	668
認知症コールセンターの設置	委託	4,111	4,111	0	
認知症疾患医療センター運営事業	補助金	11,844	10,860	10,863	
認知症予防県民運動推進事業	直接	447	387	495	
認知症初期集中支援チーム整備推進事業	直接委託	—	—	3,640	
	合計	18,285	16,677	16,453	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	60,512	25,320	18,285	16,453
	補正予算				
	合計(A)	60,512	25,320	18,285	16,453
	一般財源	12,091	12,092	8,921	7,228
	県債				
	国庫支出金	48,421	13,228	9,364	7,669
	その他	0	0	0	1,556
	決算額(B)	43,503	20,550	16,677	
概算職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	
概算人件費	5,781	5,781	5,781	5,781	
概算事業費(B(A)+C)	49,284	26,331	22,458	22,234	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者累計	533	550	554	達成	-
認知症サポート医養成累計	62	65	71	達成	-
認知症疾患医療センターの設置箇所数	3	3	3	達成	3

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医認知症対応力向上研修は、県内でも受講者数の少ない地域で開催するなど全体のバランスを考慮して開催した。 ○認知症サポート医の養成は、県医師会の協力を得て受講者を募っているが、県の養成枠以外にも自主的に受講する医師も増え、目標を上回り達成した。 ○認知症疾患医療センター事業費の国庫補助額は年々減少しており、厳しい状況にあるが、3箇所の設置を維持することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	医療・介護・福祉の連携による総合的な支援を行い、認知症高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するため、平成27年度においては、既存の事業を存続しつつ、新規事業の認知症初期集中支援チーム整備推進事業において、支援医の養成・フォローアップ等の研修の充実を図る。